

ひめだ高宏ニュース

日本共産党 和歌山市会議員

No. 1232

19.1.15

増税・カジノ「春を呼ぶつどい」

日本共産党 市南後援会

日本共産党和歌山市市南ブロック後援会は、1月14日(月・祝)に片男波・健康館で「共産党の躍進で消費税10%の中止・カジノにストップを、春を呼ぶつどい」を聞き、60人の参加で楽しいひと時を過ごしました。つどいにご協力いただいたみなさん、ありがとうございました。

参院選挙区 前さんの沖繩報告、グループゆかい

つどいは、グループゆかいの沖繩の唄と踊りでスタート。ギターに合わせて、すくすく楽しもうと踊るカチヤーシーがステキでした。次に美優亭八苦さんの落



落語「平林」を熱演 美優亭八苦さん

語「平林」。時間にあわせて



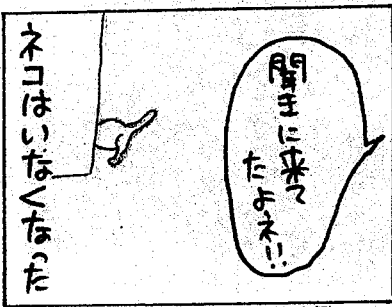
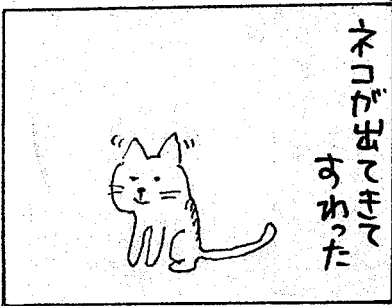
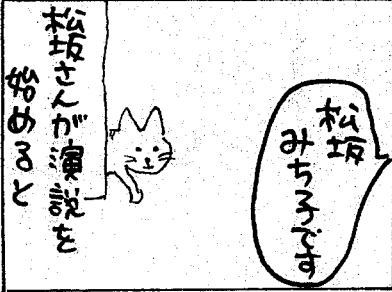
沖繩の唄 三線と太鼓



↑手前からひめだ、松坂前 ↓ギターにあわせてカチヤーシー

フツーの人々

<1015>



て枕が短くなりましたが、不安定な高座で熱演。前々参院選挙区候補は知事選の応援で行った沖繩の報告、現政権の暴走を止めようとして訴えました。松坂前

今週のフツーの人々

(その178)

ニヤンにも言わない話

落語の小噺です。ある家で大騒ぎしてネズミに竹製のザルをかぶせてから、つかまえたネズミが大きい、小さいと親子で言い争いになったとき、ネズミがザルの中で「チュー」と鳴いたという話。なぜこんなことを思い出したかというところ、先日、松坂前さんさんと手平の方へインドマイクで共産党の政策を訴えに回ったときのことです。2人し

ち子息候補は、国保や介護など水までの取組を真政に生かしたいと話しました。私、ひめだは、市議会の状況と議会質問の中身を少し詳しく報告しました。



ひめだ高宏

で交えてマイクを握り松坂さんが話し出すと、かわいらしいネロが、まもなく松坂さんの演説を聞きに来たように出てきて路地にすわりました。演説が終わったらニヤンにも言わずにいなくなったのです。松坂さんは、ネロが話を聞きに来てくれたと大喜び。14日に開かれた市南ブロック後援会の新春のつどいで、その話をしました。こんな面白い話△△するのはムリ。

障害者後援会の新春のついで

1月13日(日)美園の貸館「L」のB0で日本共産党障害者後援会新春のついでに、前久参院選挙区候補松坂みち子議員候補、井本ゆういち市議候補と私ひめだも参加させてもらいました。参加者から車庫障害で作業所に通っている人が65歳になったとたんに介護保険のサービスへの移行を強要される「障害者の

65歳問題」の話も聞きました。松坂さんによる市議

カジノより中学校給食を

（署名）

1月14日(祝・月)日本共産党市議・候補の7人がJR和歌山駅前で、中学校全員給食の実施の署名宣伝を行いました。共産党市議団は「カジノより中学校給食を」と書いたカラフルな横断幕を作りました。お披



り 交 給

露目も兼ねて、全員で宣伝に出たのです。

会の厚生委員会と議論になったとのこと。おが作業所をどう促しているのか質問して聞きたかと思いましたが、

松坂みち子は

指差し確認

原付バイクに再度乗り始めて半年、だいぶ慣れました。バイクを止めたとき、カギを付けたままにしてしまいヒヤヒヤしたこと

が数回。バイクのカギだけだから緊張感がないのかもと思い、バイクの鍵と家の鍵も一緒に鍵束にして乗っていました。が、先日、事務所の前に置いて宣伝に行き、戻ってきたらバイクに鍵束がついたままどびっくり。その後も途中でカギを外して戻ると、同じ失敗を繰り返していました。

取り返しのつかないことにならないうちに、直し、今ではバイク単独の鍵に戻して「指差し確認」を意識しています。安全運転と安全管理、気を付けます。



松坂みち子 (県議 予定候補)

潮流

世界の子どもたちに愛された小説の作者、ドイツのエアリヒ・ケストナーが生まれ

知を乱すことがなされたら、それを止めた者だけをなく止めなかった者にも責任はある。池田香代子訳。ケストナーは前書きで「かこころをともなわない勇気は乱暴ではないし、勇気をともしないかこころは昆のようなものなんだよ」と呼びかけました。▼ケストナーの作品はナチスの手で焚書にされました。「へこたれるな、くじけない」をもて、「飛ぶ教室」の1節は自分を含めて入った水そうに入らなうたを奮った

てから2月で120年になります。▼忘れてならないのは彼を含めて世界の人々を塗炭の苦しみに陥れた第二次世界大戦開戦から今年は80年ということ。1939年9月1日、ナチス・ドイツがポーランドに侵攻し世界は大戦に突入しました。▼代表作「飛ぶ教室」が書かれたのはナチスが政権をとった1933年。舞台はドイツの9年制学校であるギムナジウムと寄宿舎。生徒たちのクリスマス物語です。政治の話など出てきません。しかし、作品には迫りくる戦争の危機にどう立ち向かうべきか、意味深い言葉がちりばめられています。▼登場人物のクロイツカム先生は生徒たちの乱暴をこらしたため、「平

自分も奮った。▼自分が利益と考えることのために、他者を犠牲にしているか、入る人物が指導者に就く国が今もありません。くじけず、へこたれず、勇気と賢さを。ケストナーの呼びかけを年の初めにかみしめたい。

赤旗 日刊 3,497円/月 日3,497円/月 930円/月